

# 令和元年度 支え合いをひろげる 住民主体の生活支援フォーラム 開催要綱

## 1. 趣 旨

平成 27 年度から実施されている新しい地域支援事業では、地域の多様なニーズに対応できるように、住民が主体となって実施する生活支援の拡充が期待されました。これを受け、実施主体となる各市町村では、さまざまな工夫により多様な事業が展開されています。また、平成 30 年 4 月には改正社会福祉法が施行され、地域共生社会の実現に向けて、住民主体の生活支援サービスへの期待もより一層大きくなってきています。

このようななか、各地で既存の活動の活性化、介護予防・日常生活支援総合事業を活用した新たな活動やサービスを立ちあげ、また、分野や課題を横断した取り組みが展開されるなど、その実践活動にもさまざまな変化が生まれています。

本フォーラムでは、豊富な知識・経験を有する3つの全国団体の協力を得て、地域に必要とされる多様な実践を通じ、地域共生社会の実現に向けた取り組みの展開に役立つ情報、留意点、専門職や住民との協働のあり方について学びます。

**2. 主 催** 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

**3. 共 催** 住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会  
一般社団法人 全国食支援活動協力会  
特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク

**4. 開催日** 令和元年 10 月 16 日（水）

**5. 会 場** 全国社会福祉協議会 灘尾ホール  
（東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル LB 階）

**6. 参加対象**

- ・生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）
- ・住民主体による生活支援のサービスや活動に関心のある方
- ・助け合い活動、生活支援サービスを行う NPO、ボランティア団体、関係団体
- ・生協、農協、社会福祉協議会等関係者
- ・行政・自治体関係者

7. 参加定員 300名 ※定員になり次第、締め切りとさせていただきます

8. 参加費 <16日のみ参加>

3,000円

<生活支援コーディネーター研究協議会（前日15日）から引き続き参加>

2,000円（※15日とあわせて、参加費は計5,000円になります）

9. 申込締切 令和元年10月3日（木）※定員になり次第、締切とさせていただきます

## 10. プログラム

※本年度のフォーラムは、3つの活動を共有するとともに、活動上の課題や工夫、行政や社協からの支援の状況などを共有するために、分科会方式をとらずに実施することとしています。

時間	内容
9:00	開会
9:10～ 10:10 (60分)	<b>【基調報告】</b> <b>「住民主体の生活支援サービス実践団体からの提案 ～住民主体の活動の発展と行政・社協による支援への期待～」</b> 基調報告では、助け合い活動のこれまでを振り返りつつ、報告者自身の実践から、地域で必要とされる活動を生み出し、創意工夫を重ねながら活動を運営・継続するためのヒントを共有します。また、活動にあたってどのような課題に直面しているか、課題の解決に向けてどのような取組が必要なのかについて、行政や社協との連携や必要とされている支援について課題提起します。 ◆報告者 琉球大学 人文社会学部 人間社会学科 講師 田中 将太 氏
10:10～ 10:20	休憩
<b>セッション企画「持続可能な活動とするために ～住民主体の生活支援サービスに求められる工夫を考える～」</b> 住民主体の生活支援サービスは、多様なサービス主体により住民のニーズに対応してきましたが、サービス提供の複雑化・多様化がすすむなか、会員の減少などもあり、継続したサービス提供の実施が課題となっています。 団体が活動を継続していくために取り組んでいる運営上の工夫などを報告いただきながら、課題の発見と対応、取り組み等を共有し、今後の活動を展望します。	

<p>10:20～ 11:50 (90分)</p>	<p><b>第1セッション &lt;訪問型サービス&gt;</b></p> <p>◆実践報告者</p> <p>実践報告①</p> <p>三和 清明 (みわ きよあき) さん 特定非営利活動法人寝屋川あいの会 代表 (寝屋川市)</p> <p>実践報告②</p> <p>濱野 将行 (はまの まさゆき) さん 一般社団法人えんがお 代表理事 (大田原市)</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 副代表幹事 隅田 耕史 (すみだ こうじ) さん</p>
<p>11:50～ 12:50 (60分)</p>	<p><b>昼食休憩・移動</b></p>
<p>12:50～ 14:20 (90分)</p>	<p><b>第2セッション &lt;食事サービス&gt;</b></p> <p>◆実践報告者</p> <p>実践報告①</p> <p>山本 実千代 (やまもと みちよ) さん 日常生活支援サポートハウス 代表 (金沢市)</p> <p>金沢の古い民家を開放し、子どもや何らかの生きづらさを持つ人たちの社会生活自立に向けて日常生活を支援。合わせて農育、食育を実践的にとり組みながら 1 年を通じて親子で農業に参加する「子育て農業応援団」にとり組んでいます。</p> <p>実践報告②</p> <p>清水 福子 (しみず ふくこ) さん 認定特定非営利活動法人あかねグループ 理事長 (仙台市)</p> <p>仙台の食事サービス活動団体。配食サービスからホームヘルプサービス、コミュニティカフェ「あかねちゃん家」、あかねサロンなど食を展開した様々な在宅支援活動を展開しています。</p> <p>実践報告③</p> <p>大村 みさ子 (おおむら みさこ) さん ホッとステーション 代表 (荒川区)</p>

	<p>荒川区で中高生支援の居場所づくり活動に取り組み、毎週木曜日の食事提供の居場所づくり以外に、「ごはん会」として、子ども達にご飯を自分で作って食べるという事にポイントを置いた活動を始めています。</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>平野 寛治（ひらの かくじ）さん      全国食支援活動協力会 常務理事</p> <p>鈴木 訪子（すすき ことこ）さん      荒川区社会福祉協議会 地域福祉活動促進専門員他</p>
<p>14:20～ 14:30</p>	<p>休憩</p>
<p>14:30～ 16:00 (90分)</p>	<p><b>第3セッション &lt;移動・外出支援&gt;</b></p> <p>◆実践報告者</p> <p>実践報告①</p> <p>宮田 太一郎（みやた たいちろう）さん      国東市社会福祉協議会 福祉支援課 生活支援コーディネーター</p> <p>急速な過疎化が進む地域では、買物や通院をはじめ今の生活を維持することが喫緊の課題であり、なにより大きな不安でもある。熱い気持ちを持った住民自らが学び、気づき、考え、動く“住民主体”がキーワード。『居場所と食事と移動』を基幹テーマに住民と行政、社協等の連携で現在市内 6 地区(全 16 中)に具体的な実践がはじまっている。</p> <p>実践報告②</p> <p>樋口 蓉子（ひぐち ようこ）さん      NPO 法人 おでかけサービス杉並 理事長</p> <p>その人らしく住み慣れた地域で暮らせるように、移動サービスから始まって、生活支援の様々な活動（誰もが集える居場所づくり、ちょっとした困りごとのお手伝い、区高齢者施設の運営受託等）を、みんなで力を出し合って活動中。</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>河崎 民子（かわさき たみこ）さん      NPO 法人 全国移動サービスネットワーク 副理事長</p>

## 1.1. 申込方法

別添の参加申込書により、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店宛にお申し込みください。折り返し同社より参加券および参加費の振込依頼書等をお届けいたします。

参加費等のお支払いは、期日までにお済ませください。

当日は、参加券をご持参ください。

## 1.2. 個人情報の取り扱い

本フォーラムは、個人情報保護における取扱契約を「名鉄観光サービス(株)新霞が関支店」と交わしたうえで、同社に上記の業務を委託しております。「参加申込書」に記載された個人情報は、運営管理の目的にのみ利用させていただきます。

なお、本フォーラム参加者に配布する資料には、参加者の氏名・所属・役職を掲載いたします。

<フォーラムの内容に関するお問い合わせ先>

全国社会福祉協議会 地域福祉部（担当：赤坂、岸本）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3581-4655 FAX. 03-3581-7858